

大府市に恩返しを。



大府市公式イメージ曲制作

水野 紗希

>>PROFILE 大府市出身で、北山小、愛知淑徳中、菊里高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部、同大学研究科を修了。「宝石の八神」CM曲の演奏や、クラシック音楽に限らず、ポップスやロック、ジャズなどジャンルを越えたセッションにも取り組んでいる。

大 府市出身で、多数の有名なアーティストや他ジャンルなど幅広く活躍するバイオリニストの水野紗希さん。これまでも市内で数々のバイオリンコンサートを開催しています。

豊かな自然の中で すくすく育った少女時代

バイオリンを始めたきっかけについて水野さんは、「母に勧められ、4歳の時に始めました」と話します。その後、スズキ・メソッドでもバイオリンを学び始め、そこで「いろいろな楽器と一緒に演奏する楽しさを学びました」と当時を振り返ります。

現在は東京で暮らす水野さん。大府のまちについて、「自然が豊かで、大きな公園がたくさんあり、子育てをするようになって一層大府の住みやすさを感じるようになりました」と東京で生活しているからこそ感じる大府の良さを語ります。

子どもの頃は、大府みどり公園を駆け回る活発な女の子だったそうです。大倉公園つじまつりでは、親と子の写生大会にも参加したことがあるといえます。

母だからこそ、できることを

水野さんは現在、月1回のペースでソロコンサートや子ども向けのコンサートを開催しています。「子どもたちに、バイオリンとピアノの生の音を至近距離で届けたいという思いから、子ども向けのコンサートを始めました。育児で大変なお母さんたちにも少しでもリフレッシュしてもらえたらと思います」と語ります。自身も5歳の長女と令和元年4月に生まれた長男を育てる二児の母。子育てをする身だからこそ、子どもだけに、親にも寄り添うコンサートの必要性を感じています。

育ったまちへの恩返し

日頃から「大府市に恩返しをしたい」と考えていたという水野さん。令和元年5月、岡村市長からの「大府市制50周年を記念し、大府市公式イメージ曲を制作してもらえないか」という打診を二つ返事で受諾しました。そして完成した市公式イメージ曲は、しっとりした優雅な旋律の「H A B A T A K I」と、躍動感のある「F U N ! O B U」の2曲。
市公式イメージ曲について、「自然が豊かで、住みやすいまちである大府のイメージを表現しました。どの

世代でも聴きやすい曲になるように心掛けました」と制作に懸けた思いを語ります。
自分の暮らしたまちへの恩返しという水野さんの思いは、令和元年11月22日に市役所地下多目的ホールで行われた市公式イメージ曲完成記念コンサートとして実現しました。
「多くの大府の人に、今もバイオリンを頑張っている姿を見せたいです。心を込めて演奏します」とあいさつし、コンサートがスタート。駆け付けた多くの人に、ぜひたくなひとときを届けました。



市公式イメージ曲は
こちらから
視聴できます



1名古屋国際会議場で行われたスズキ・メソッド東海大会の様子(写真中央・当時4歳) 27歳の時のバイオリンの発表会 32010年10月に行われたトークライブ 4市公式イメージ曲を制作している時のひとこま 5議場で行われた市公式イメージ曲完成披露コンサート



広報おおぶ平成24年6月1日号では、勤労文化会館現在・愛三文化会館で行われた「おおぶトークライブ&水野紗希バイオリンコンサート」の様子を表紙に掲載しました。

▲2012年6月1日号表紙